早川町国土強靭化地域計画（案）に対する

パブリックコメントの実施結果について

１．募集期間

　　令和3年2月17日（水）～令和3年3月3日（水）

２．意見の趣旨と町の考え

①県道雨畑大島線・林道井川雨畑線、及び雨畑ダムについて

（意見の趣旨）

2018，19年に大きな台風により地域に甚大な被害があった。過去の被災体験からすれば、大きな台風の再来により、奥沢橋の流出、湖岸の道路の破壊の可能性が高く、集落の孤立による社会生活の機能不全に陥る。

　強靭化地域計画では、「県道や林道において、県との連携による対応の検討」、「堆積土砂の浚渫や治山の要望」と言った表現をしているが、強力に対応してもらいたい。

（町の回答）

長期にわたる集落の孤立は、住民の生活に重大な影響を与えるものであり、避けなければならない事態と捉えています。生活道路である県道雨畑大島線及び林道井川雨畑線が、通行不能となることのないように、関係機関に強く要望してまいります。

②雨畑ダムの堆積土砂問題に対する対応について

（意見の趣旨）

堆積土砂を計画的に搬出することになっているが、ダムを造る時点では想定していなかった事態になっていることを踏まえると、堆積土砂の浚渫を短期的に行うだけでは根本的な対策にならないことを認識して欲しい。

堆積土砂の発生源である八潮のガレなど山の崩壊地への取り組みが必要と考える。成果が見られるのは数十年後であっても、崩壊地への植林や造林事業を行うべきである。

強靭化地域計画では、「治山などを含めた適正管理の要望」と書かれているが、重要視してもらいたい。

（町の回答）

短期的な堆積土砂の浚渫だけでなく、中長期的な視点に立ち、土砂の流出を防ぐ取り組みを国・県に強く要望してまいります。